

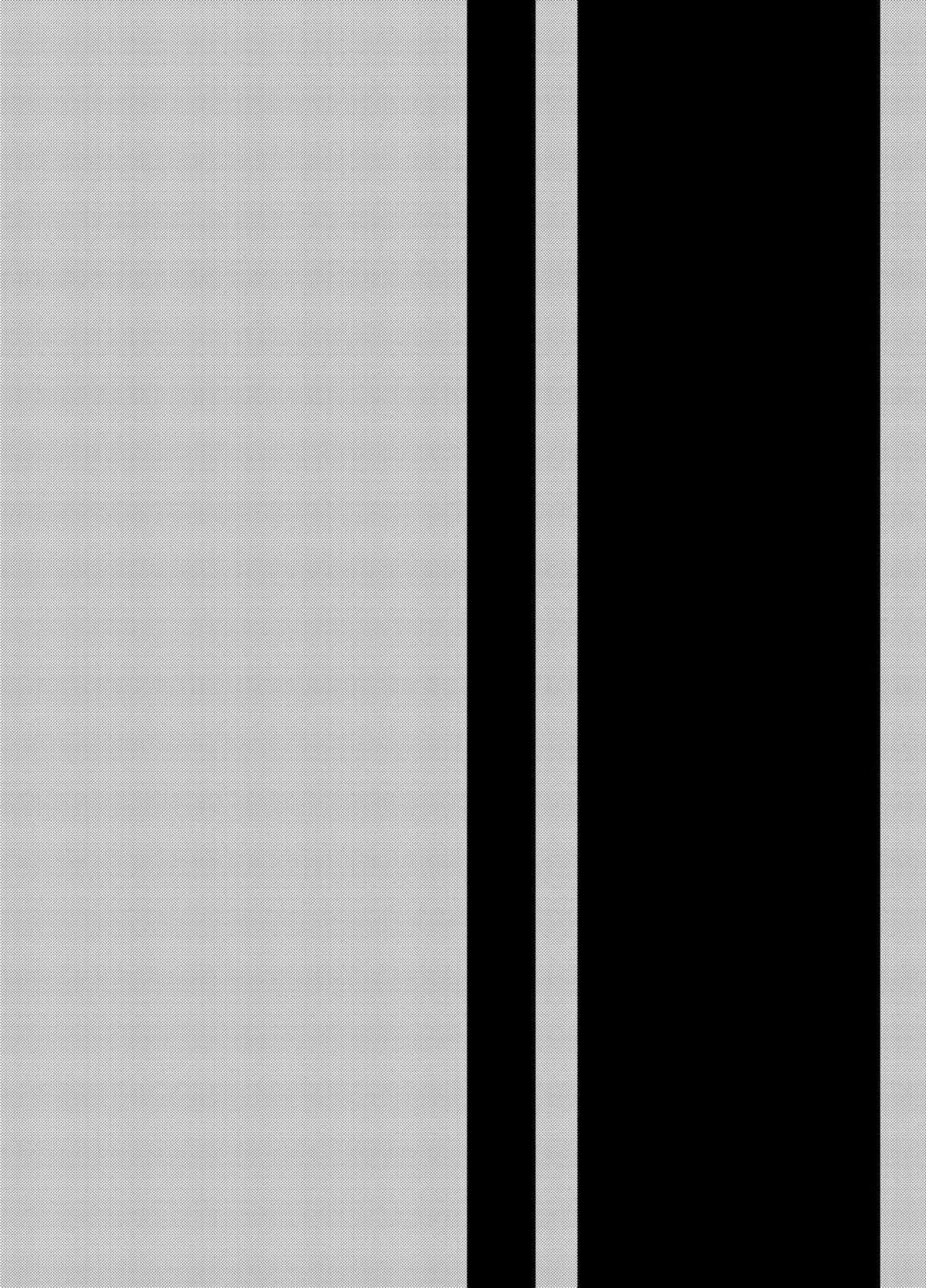
**絶対  
★  
服従**

**神羅遊  
戯**

DOJIN  
R18  
成人向け









神と魔物そして  
人間が共存する世界  
神羅万象

この世界で暮らす彼らは  
各自の「欲望」を「実現」  
にするために生きている。

確かにこの辺りで  
異質な魔力  
が感じられるけど……







何だ。リーダーじゃないか。  
全部絶滅してしまったと思ったけど。





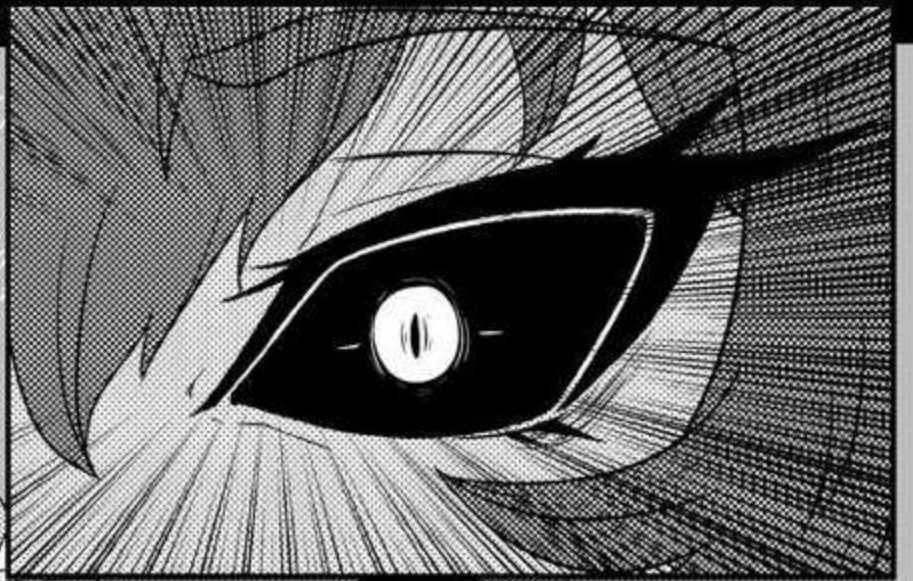
ひー!  
助けて!



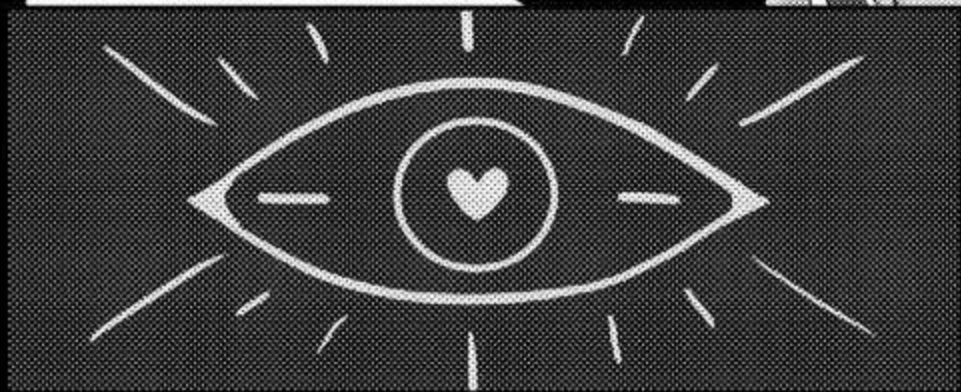
ふん、まあ良い。  
全部消してしまえばいいさ。



しかも、私の魔力が消えている?!

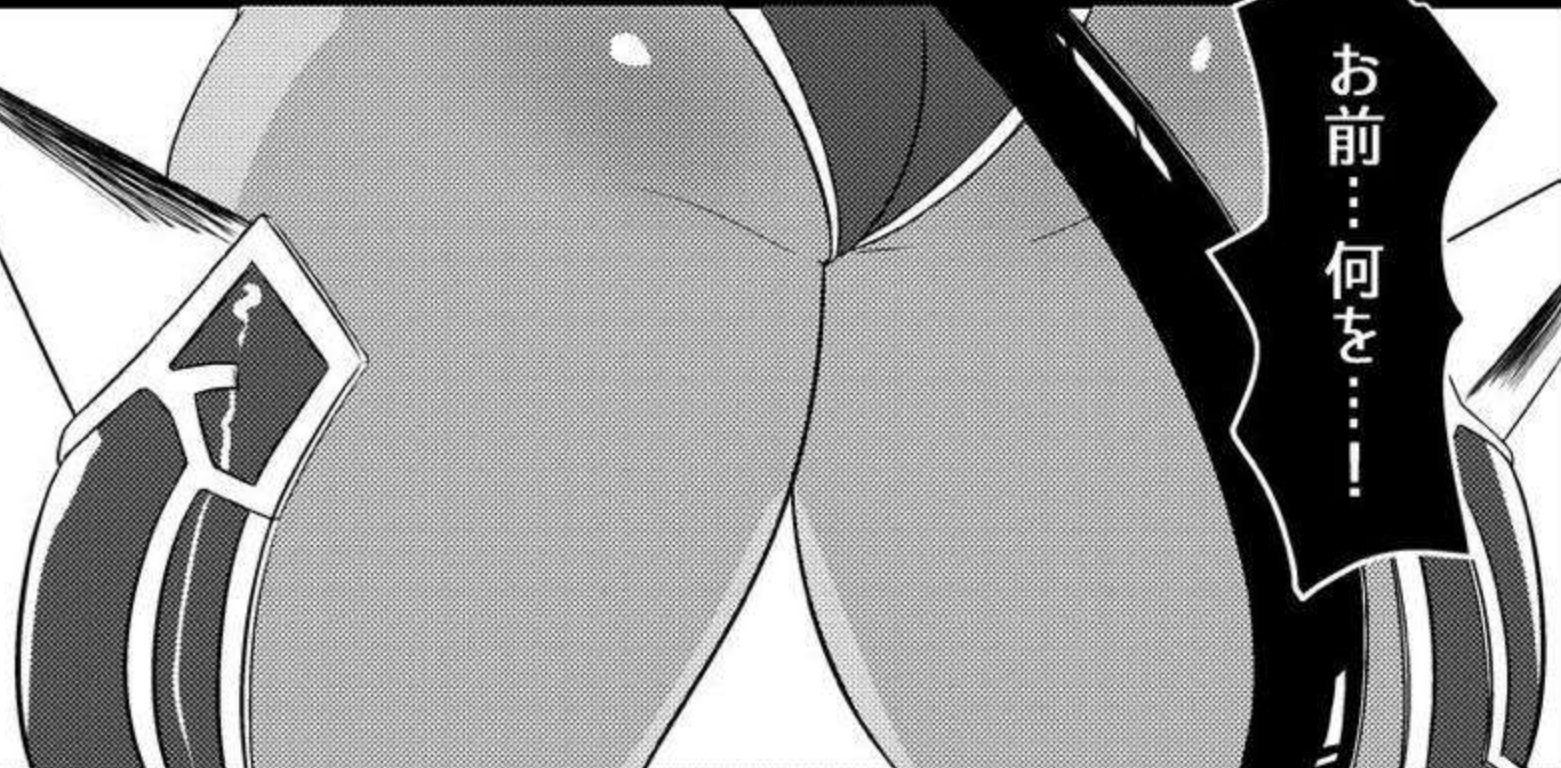


!!な…何?!  
か…体が動かない…



あいつが手に持っている物のせいかな!

ブ…ブツヒッ、  
これマジでできるみたいね。



お前…何を…!





じゃあ、その息苦しそうなものから脱げ出せてみる。

ぶっ  
びん



ブヒッヒー  
本当にこれでその「偉い皇魔族大将」を私の思い通りにできる！

はー？  
何を話しているか。  
こんなことならすぐ…



ぶっ  
びん

ブヒッ！  
これがあのすごい  
大將軍様の胸と  
おまんこか！

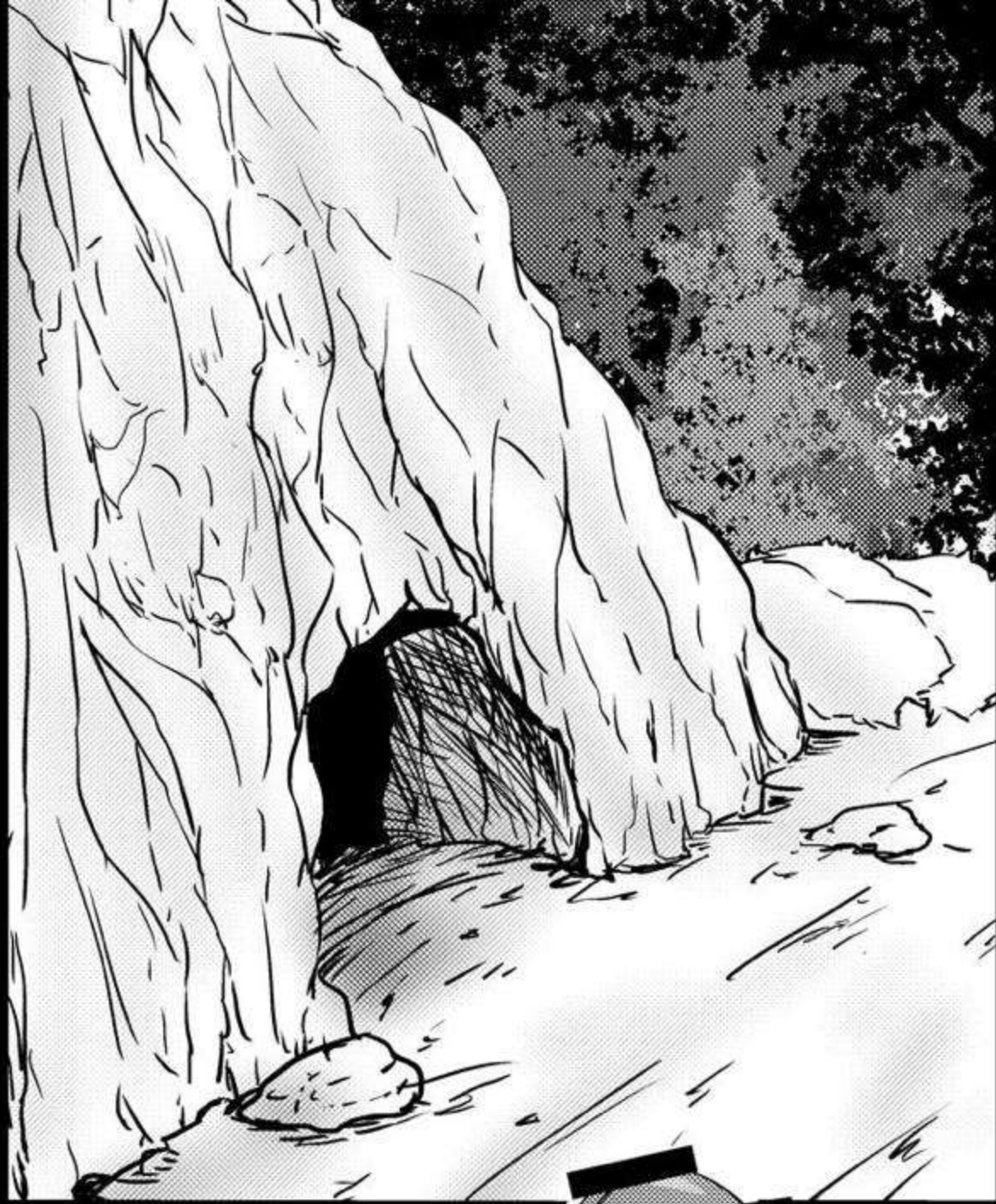


えっ…



な…何！？





くっ！お前……！  
必ず殺す……！！



ブヒッヒー  
それは本当に楽しみだな



じゃあ、  
殺して見て、俺の物を





おおっ!  
そのベリアールの妻が  
俺の物を!

ちゅわっ♡

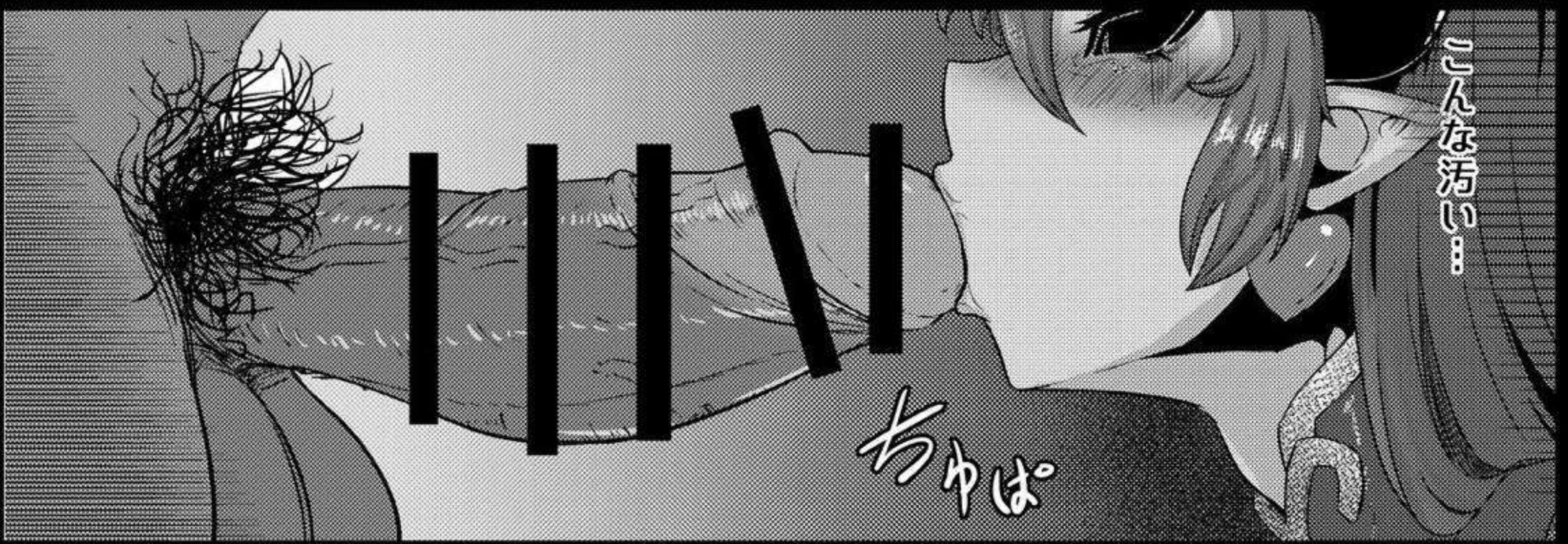


早くその高貴な口  
で私の物を殺してみろ。  
ブヒッー



ビッ

はあ



こんな汚い!!

ちゅほ



げっほ  
顎が抜かれそう!!

おい!  
それぐらいでは終わ  
らないよ!

ほ

ほほ





高貴な者だから、  
「くちまんこ」  
もすごいだな！



ちゃんとしろ！



ブヒッ！  
さあ、皇魔族の  
「くちまんこ」に出す！  
全部飲めー！！



ブヒッ  
ゴッ



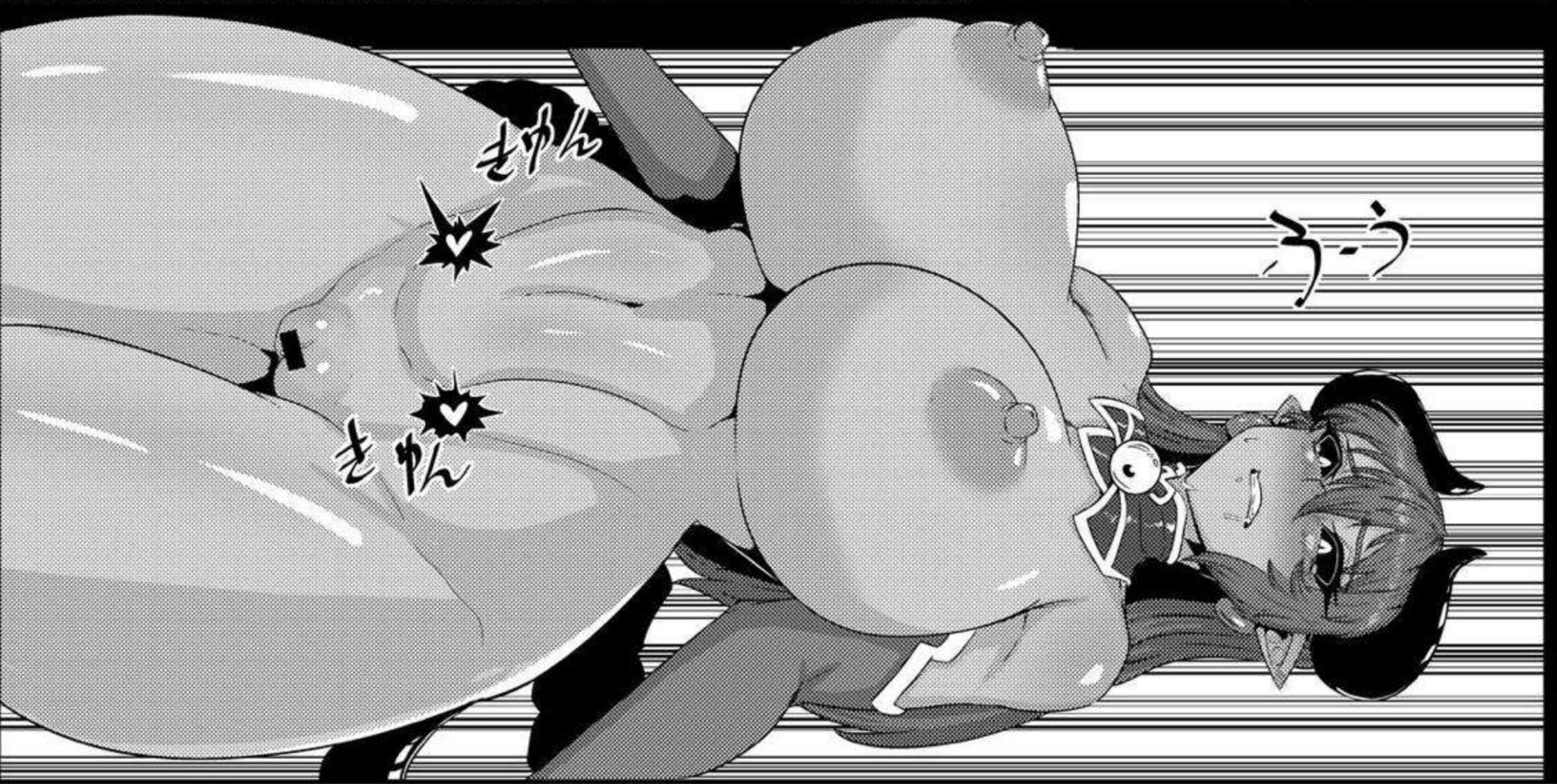


ゴホーゴホー…  
お前…よくこんなことを…!!



ブヒッ！そういえば、  
あの高貴なアスタロト様は、  
分からないかな。

うちのラードの体液は  
「メス」を発情させるものだからな…  
それが、どんな種族でもな？



きゅん

きゅん

うーう





はあ？そんなこと言いながら、  
このように乳首も…  
こう発射しておいて…

そんなことが  
私に通じると思っているのか…！



見ろ！おまんこもこんなに  
濡れているじゃないか…！！





ブヒッ！こんなにだらしない様子で  
愛液を流してはだめだよ。  
どうかな…皇魔族のおまんこは  
どんな味かなー？

あ…だめ！  
そこはベリアル様  
だけに許したところ…

ぐにぐに

クク



ぐにぐに

お



ひっ



おおおおおー！だ…だめ…

こいつの唾液のせいでおまんこが…





プハッー！これは！これは！  
皇魔族っていうより  
完全に肉変器族でしょう？



じゃ、今度はこっちで  
味見しようか。

あ…ああ！だめ！  
挿入だけは…！



びびり

！！！！

















おら!  
ちやんとおまんこを締めろ!

も...もう  
やめろ...



俺のちんぽをおいしいそうに  
吸い込んでいるじゃないか!

いひっ



お前のまんこは...

ぶっ

ぐり



あ? やめろって?!

ズン

ズン





これからベリアールじゃなくて、俺のおちんぽ専用の肉便機になるんだ!!!



ブヒッ!  
最も濃縮された精液を出してやる!  
妊娠しろ! ラードの子を妊娠しろ!  
肉便機アスタロット!!!







始めまして。締め切りに追い詰められているexabyte(エクサバイト)です。

まず、本を購入してくださって本当にありがとうございます。

コミケに参加するのは妄想だと思っていたのに

思いがけない機会と多くの人々の感謝の助けのおかげで、妄想が現実となってしまいました。

同人行事の参加も初め、同人誌作業も初めなので、最初の本だけはできるだけ後悔しないように

思い切りにやってきましたが、まさか神羅万象が終わるとは

でも、終わる年に合わせてことが、慰めるように描きましたが、やっぱり悲しいですね。

今の機会を通じてもっと多くの新羅万象の同人活動をする契機になると思いましたが、残念ですね…

次の本は暗示しましたが、出るかどうかは分かりません。(涙)

とにかく、すべては始まりと終わりがあるから悲しくても後悔のない気持ちで送れるようにしなければならぬでしょうね…

そして、まだ終わっていない締め切りもですね。

だから、ここでもう一度助けてくださった周りの人々と本を買ってくださった皆さんに感謝しながら

今度、また会うことを期待してここで退くようにします。bye bye

PS. 多少おかしな日本語があるかもしれませんが、次の本ではもっと努力して訳すようにします。

-Exabyte





製作	Exabyte
サークル	妄想ハンター
twitter	@Parallax05
発行日	2019.08.10



# 妄想

vol.01